

ここが聞きたい！

いっぱん

給食費無料化・助成に 過疎債ソフト対象になるか

内田精彦 議員

町長 可能であるが限度額を
超えており現状では困難である



問 学校給食法では、施設の整備費や調理員の人件費は設置した自治体が、それ以外は保護者負担となっている。奥出雲町の学校給食会への補助金額はいくらか。

答 糸原教育総務課長

平成28年度は8千833万3千円を予算化している。

問 文部科学省によると、平成26年度の給食、保護者負担は平均月額、小学校4千200円、中学校4千800円である。奥出雲町の小学校の保護者負担の1食当たりの単価は、月平均はいくらか。

答 糸原教育総務課長
1食の単価は小学校で27円、中学校で30円である。月平均は、給食の実施実績を基に計算してお

り、小学校で4千283円、中学校5千66円である。

問 少子高齢化、人口減少に悩む自治体が、子育て環境を充実させ移住者を増やそうと、学校給食無料化が増えている。奥出雲町も無料化あるいは一部助成ができないか。

答 糸原教育総務課長
県の給食会が提供する島根産コシヒカリと仁多米コシヒカリとの差額を補助しており、本年度は127万5千円を予算化している。

問 給食費の無料化や一部助成の拡大は、現在のところ財政的に困難であり考えていない。

問 無料化、一部助成に過疎債ソフト事業が対象になるのか。

答 糸原教育総務課長
米の補助金に現在過疎債ソフトを充当している。給食費を助成する際に過疎債ソフトを充当することは十分可能である。本町は発行限度額枠を超えて充当しており、これ以上の給食費の助成分に充当することは現状では困難である。

問 本町の脳血管疾患の死亡状況は、県下19市町村で男女とも最も高い状況であるが、いつ頃からなのか。

答 糸原健康福祉課長
平成5年からの5年平均値のデータで、奥出雲町の脳血管疾患患者死亡率は以前より高い状況である。近年突然に高くなったものではない。

問 町はこの状況をどう捉えているのか。

答 糸原健康福祉課長
生活習慣、特に食習慣に起因するものが大きいと考えている。健康教室などの機会を捉えて、減塩食生活のバランス、また適正な飲酒等について、引き続き啓発をする。

問 特定検診の受診率の向上や脳ドック事業などにより早期発見、早期治療につなげる。

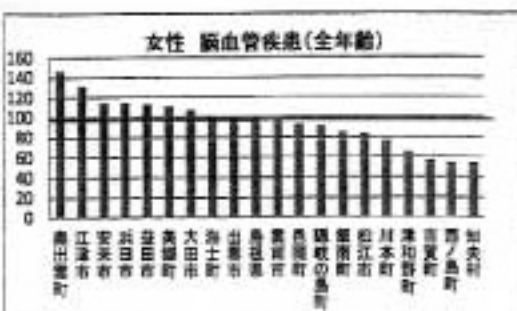
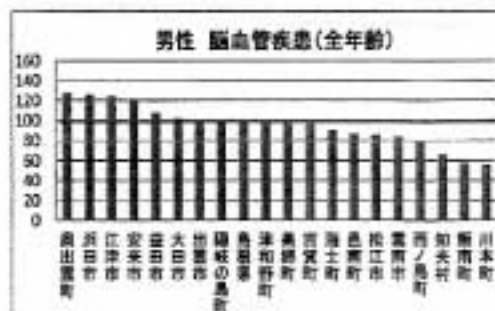
問 平成27年度の特定健康調査の状況は。

答 糸原健康福祉課長
割合として要精密検査14%。要治療45%。要指導経過観察34%。異常なし、正常7%である。

問 要精密検査が14%も

ある。早く治療を必要とする人にすくなく、対応できないのか。

答 糸原健康福祉課長
対象者には個別に通知するよう対応している。



脳血管疾患による死亡の状況(県の100とした場合の状況)2010年を中心とした標準化死亡比